

学校だより

かみさくのべ

令和7年度
学校だより
令和7年4月7日
川崎市立上作延小学校

令和7年度スローガン「自分からやってみよう・みんなでやりとげよう」

校長 栃木 彰子

春休みの期間、出勤の行きかえり、元気な子どもたちと何回も会うことができました。遠くから「校長先生。こんにちは」と元気に声をかけてくれ、うれしい気持ちにさせてもらいました。やっぱり挨拶ができて穏やかで素直な上作延の子だなあと思いながら「こんにちは、春休み、楽しんでますか。」や「車に気を付けてね。」などとやり取りをして「うん、わかった。早く学校始まらないかなあ。」と明るく立ち去っていく子どもたちとの触れ合いは、心地よくて、本格的な春の到来も手伝って、本当に温かい気持ちになりました。1年間、子どもたちにあいさつの指導をしてきましたが、それが町の中でも、自然にできていたことが嬉しくて、「また子どもたちと会えるな」と気持ちが引き締まる思いがしました。

そして、迎えた始業式と入学式。子どもたちが、私たちにまた大きな感動を与えてくれました。まず、始業式です。子どもたちは小雨が降り始めた中でしたが、集中して話を聞くことができました。私には「新学期も頑張るよ。」と熱いメッセージを送ってくれているように思いました。

次に入学式です。新2年生が 新入生に、明るく大きな声で、そしていい表情で呼びかけを披露してくれました。入学式に参加してくださった保護者の皆様も、一年後の成長を楽しみにしたことでしょう。それぞれの式で新6年生の代表があいさつをしましたが、とてもいい話をしてくれまし



た。これからは、「わたしたちが学校を支えていくんだ。」とう意気込みが感じられました。かみさくの子は、すくすくと育っています。

午後は、元担任は向丘中学校に、私は宮崎中学校の入学式にも参加しました。新しい制服を着た卒業生たちは、凛々しくて素敵でした。中学校へ送り出す立場として、順調な出発ができたことを嬉しく思いました。長い一日でしたが、様々の場面での子どもたちの頑張っている姿を見て、子ども達の力のもっている力の大きさを感じました。

令和7年度、新入生80名を迎えて、全児童数604名で上作延小学校がスタートしました。令和7年度の学校のスローガンは、「自分からはじめよう。みんなでやりとげよう」です。昨年度の夏ごろから教職員と児童が、自分たちの強みと弱みについてアンケートを取ったり話し合ったりしながら目標を定めました。明るくやさしさは上作延の子どもたちの強みです。これは何よりも大切に素晴らしい点です。その良さに加えて、「主体的に取り組む力と壁にぶつかってもあきらめないで続ける力」を身に付けていくことで、さらに未来を生き抜く大きな力となることでしょう。話し合いの中で、当時5年生、6年生の児童はこのように話してくれました。「自分から切り開いていくことはすごく大切。けれども続けていくことや広めていくには自分の力だけでは難しい。励ましてくれる友達と一緒に頑張ってくれる友達や仲間が必要」と。このスローガンは、それぞれの子どもの個性を尊重したものです。それぞれ異なる良さや考えをもった一人からはじまり、みなで協力しあって実現する姿。これは、未曾有の未来を切り開く在り方、大きな力だと思えます。このようなスローガンが生まれたことを誇らしく思います。

職員も、子どもたちも「よりよい自分」「よりよい学校」に向けて前進しようとしています。保護者、地域の皆様には、今年度も学校を支えてくださいますようお願い申し上げます。